

ビジネス科 3年B・D組

教 科	商 業	科目(単位)	ビジネス法規 (2単位)	選択相手科目	数学A・手芸
使用教科書	ビジネス法規 (実教出版)				
授 業 形 態	通常授業・ 分割授業 ・ T T				

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※T T (チームティーティング) とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。
- (2) 法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 科目の内容と授業の進め方

教科書を中心として講義形式で行い、教科書・ノートを利用して、学習を進めます。教科書では民法や商法等に関する具体的な経済事象を取り上げていますので、イラストや注釈、事例集を利用して授業を進めます。

3 学習の方法

- ・時事的な諸問題も多くあるので、新聞等の内容を取り入れながら自ら社会に目を向けるとともに、興味・関心を持って取り組むことを期待します。
- ・新聞を読むことによって時事に関心を持つことも重要です。

4 課題・補習について

- ・長期休業などを利用して課題を指示します。自ら社会に目を向け、課題を設定して調査発表を行います。
- ・新聞記事の時事問題なども取り上げて調べます。

5 この授業で取得可能な資格 (検定試験)

- ・全商商業経済検定 1級 ビジネス法規

6 観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

ビジネス科 3年B・D組

教 科	商 業	科目(単位)	ビジネス法規 (2単位)	選択相手科目	数学A・手芸
-----	-----	--------	--------------	--------	--------

7 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4	第1章 法の概要 1.ビジネスにおける法の役割 2.法の体系と解釈・適用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会規範、経済環境など社会の変化と法について理解する。</li> <li>・法の体系と分類、法の適用と解釈について理解する。</li> </ul>	行動観察 提出物 小テスト
5 6	第2章 権利・義務と財産権 1.権利・義務とその主体 2.物と物権・債権 3.知的財産権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利と義務、権利・義務の主体、自然人の権利能力、自然人の行為能力と制限行為能力者制度、法人について理解する。</li> <li>・物、財産権とその種類について理解する。</li> <li>・知的財産とその保護、知的財産権の特徴と種類、産業に関する知的財産権、デザインやマークなどに関する知的財産権、著作物に関する知的財産権、知的財産権の重要性と保護について理解する。</li> </ul>	行動観察  前期 中間考査 提出物 小テスト
7 8 9 10	第3章 財産権の変動 1.契約 2.物の売買 3.物の貸借 4.不法行為 5.時効	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引と契約、契約の一般原則、契約と意思表示、契約の分類について理解する。</li> <li>・売買、不動産の売買、動産の売買、債権の売買、売買契約当事者の権利・義務について理解する。</li> <li>・消費貸借、賃貸借、宅地の貸借、建物の貸借、使用貸借について理解する。</li> <li>・一般的な不法行為とその展開、特殊な不法行為について理解する。</li> <li>・民事法上の時効、時効の完成猶予・更新、時効の援用と時効の利益の放棄について理解する。</li> </ul>	行動観察 提出物 小テスト  前期 期末考査
11	第4章 企業活動と法規 1.企業活動の主体 2.株式会社の特徴と機関 3.資金調達と金融取引 4.組織再編と清算・再建 5.競争秩序の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民法と商法、商行為について理解する。</li> <li>・会社の種類、株式会社の特徴と株主の有限責任、株式会社設立の手続き、発起人と設立時取締役の責任、株式と株主の権利、株式の種類、株式の譲渡、株式会社の機関とその種類、株主総会、取締役・取締役会・代表取締役、取締役の義務と責任、監査役、会計参与、会計監査人、委員会をおく株式会社、会社法と電子化について理解する。</li> <li>・資金調達法、株式と社債の比較、金融取引の現状と課題、金融商取引、電子記録債権、電子資金移動の現状と課題について理解する。</li> <li>・組織再編、清算について理解する。</li> <li>・営業自由の原則、営業自由の制限について理解する。</li> </ul>	行動観察 提出物 小テスト  後期 中間考査
12 1	第5章 企業責任と法規 1.法令遵守と説明責任 2.労働者の保護 3.消費者の保護 4.情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令遵守、企業における、法令遵守の重要性、説明責任について理解する。</li> <li>・労働に関する一般法、労働に関する特別法、その他の労働に関する特別法、働く者の福祉について理解する。</li> <li>・消費者の保護に関する法律、消費者の安全、生活に身近な特殊売買、消費者信用、販売方法の多様化と消費者の保護について理解する。</li> <li>・ビジネスと情報、個人情報保護、不正アクセス禁止法、営業秘密の保護について理解する。</li> </ul>	行動観察 提出物 小テスト
2	第6章 紛争の解決と予防 1.紛争の解決 2.紛争の予防  第7章 税と法規 1.税の種類と法人の納税義務 2.法人税の申告と納付 3.消費税の申告と納付	<p><b>全商商業経済検定 1級 ビジネス法規</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和解、調停、仲裁、民事訴訟、強制執行について理解する。</li> <li>・証拠による紛争の予防、企業における紛争の予防について理解する。</li> <li>・税の意味と目的、納税義務と租税法律主義、税の種類と分類、法人に関わる税の概要、不動産に関わる税の概要、租税原則、内国法人と外国法人の納税義務について理解する。</li> <li>・企業会計と税務会計、税務調整、税額の計算、法人税の申告と納付のしくみ、法人税申告書の作成手続きの概要について理解する。</li> <li>・消費税のしくみ、消費税額の計算のしかた、消費税の課税対象となる取引、課税事業者と免税事業者、消費税の申告と納付のしくみ、消費税申告書の作成手続きの概要について理解する。</li> </ul>	行動観察 提出物 小テスト 学年末考査  行動観察 提出物 小テスト  学年末考査